

令和4年度 # 1 政務活動費成果報告書

令和4年5月25日

犬山市議会

議長 三浦ちさと様

議員名 柴山一生

下記のとおり、第14回日本自治創造学会研究大会の成果を報告いたします。

(1) 年月日	令和4年5月19日(木)～令和3年5月20日(金) (1泊2日)
(2) 場所	一橋講堂
(3) 形態	会派(清風会)：その他()
(4) 内容	<p>「変化への挑戦」をテーマに5本の講演と2回のシンポジウムが開催された。また初日の夕方、改革発表会兼交流会という面白い催しがもたれ大変意義深かった。</p> <p>① 日本のデジタル政策というテーマで牧島かれんデジタル大臣がビデオ出演した。今夏デジ田甲子園を開催するという事だった。デジ田とはデジタル田園都市国家構想の略。</p> <p>② 広井良典教授は、東京一極集中から多極集中にシフト転換していくべきと主張。</p> <p>③ 多田明弘氏は、総花的な経済政策を説明。本当なら、例えば、電気自動車への転換は既存の日本の自動車産業をつぶすのに加え、エコではないという視点を示してほしかった。次の日本の主産業は何なのかも示してほしかったがそれはなかった。</p> <p>④ 人口2300人の島海士町は、若者回帰や若者の移住が進んでいる。南砺市はJK課という奇妙な課があり、女</p>



	<p>子高生に1千万円の予算を委託し、若者向けのイベントを企画運営させた。これを行うことで、その生徒たちは将来必ず南砺市に戻ってくる。この一千万円は安い投資だそうだ。</p> <p>⑤ 山下氏は、新聞記者であり又ご自身が障害を持つお子さんをお持ちで地方政治にそれらの視点から意見を発している。</p> <p>⑥ 熊谷千葉県知事が千葉県の紹介をした。</p> <p>⑦ 五島市他二市長がシンポジウムでどのようにして街の活性化を実現したかを話す。五島市長は、友人国境離島法を活用して人口減を令和元年と二年に止めた。しかし、令和三年は減に再び戻った。</p> <p>初日の夕刻 改革発表＆交流会</p> <p>5つのグループと個人がそれぞれの議会改革や街の賑わい創出案を披露。柴山は別紙のように、自分が主宰する「尾北ライン議員勉強会」を紹介。</p>
(5) 成果・提言	<p>穂坂理事長の国は国、地方は地方という分業の明確化を進めるべきという地方政治哲学に賛同して、この学会に入会し、毎年定時総会には参加しているが、残念ながら、理事長の思いと、プログラムの内容は一致しているように思えない。</p> <p>会員の65%は末端の地方議員であるが、講師は首長や事業者である。大会の目的は一体な何なのか、明確ではない。</p> <p>私は、理事長の哲学は本物であると思うが、それが実現できていないと感じている。理事長の信じるところを実現するにはどうしたらよいのかを役員、事務局そして議員と議論しながら決めていく必要があると思われる。現在のままであれば、アリバイ研究大会に終わってしまう。</p>

**「つながる」
市境を超える県境を超えて**

令和4年5月19日(木)日本自治創造学会 改革発表会

犬山市議会議員 柴山一生

1

毎週金曜日夜8時から9時半まで年中無休

市町村会議員対象

- 20名程度のメンバーグループ登録している。
- 8割が市議会議員。2割が超議員。村委会議員は未登録。

目的は情報交換

- 各回の終了時にお互いに調査していただきたい項目を「テーマ」として提示する。
- あるいは、メモセミナーに「テーマ」を早めに提示する。
- それらのテーマについて各自の現況等を調査し勉強会で報告しあう。

超党派

- 自民党、立憲民主党、減税党や多款を含む無所属の方々が登録

2

勉強会の流れ

```

graph LR
    A["(1)開会  
20:00~20:10  
MC (柴山)  
①新人紹介  
②本日のテーマ紹介"] --> B["(2)テーマ勉強会  
20:10~20:50  
テーマごとに提案者説明  
引き続いて調査報告"]
    B --> C["(2)~2 提案者や  
調査報告者に対して質疑応答  
20:50~21:15"]
    C --> D["(3)自由討議  
&次週の希望  
テーマ  
21:15~  
21:30"]
  
```

3

過去のテーマ例

47回反問権	66回民生委員制度ってどうなの
48回回長選挙	69回情報公開と議会について
49回草津中学校	70回ドローンの活用について
51回観光地の駐車場	73回地域猫について
53回地方政治家のストレス解消法	75回議会事務局のあるべき姿とは
59回サービス業としてのあなたの 市役所の自慢できるところと問題 点は	77回学校給食
64回外国人による土地取得と地方 自治について	91回残骨灰のゆくえについて
65回なぜ地方議員には立候補の要 件に居住実態がもとめられるのか	98回来年再来年、直近の国保について
	101回市民病院（的な病院）と自治体

4

メンバー

犬山市議 柴山一生	美濃市議 辻文男	茅ヶ崎市議 関崎進	江南市議 大庭豊徳	厚木市議 名切文梨	東浦町議 大川晃	可児市議 中野喜一
岐阜市議 道家康生	各務原市議 杉山元則	各務原市議 古川明美	岩倉市議 大野慎治	三宅町議 森内哲也	三宅町議 松本 健	閑市議 武藤記子
				曼谷市議 吉川みつよ	坂井市議 三宅さゆり	福知山市議 荒川ひろし

5

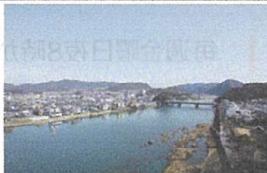
自己紹介

昭和57年秋 アメリカ武道修行
昭和60年3月 明治大学法学部法律学科卒業
昭和61年夏 ニューヨーク州立大学バッファロー校教育学修士課程入学
平成元年6月 同校 修士課程修了
昭和62年～平成2年 米での職歴 ベンキ屋 すし屋 成人学校 通訳者
平成2年4月～平成15年3月 犬山市議会議員
平成11年5月～平成15年 犬山市議会議員初当選 (1141票25人中1位)
平成15年4月 犬山市長選落選
平成19年4月22日 犬山市議会議員二期目当選 (944票 22人中17位)
平成23年4月24日 犬山市議会議員三期目当選 (910票 20人中19位)
平成27年4月26日 犬山市議会議員四期目当選 (1153票 20人中16位)
平成31年4月21日 犬山市議会議員五期目当選 (821票 20人中19位)

6

ブダとペストと犬山と各務原

平成10年5月GW ハンガリー訪問
ブダペストの名前はドナウ川を挟んだブダとペシュト2つの町の名称を組み合わせたもので、1849年に町が合併。
鉄橋は1849年11月20日に完成。



7

木曽川を挟んでライン共和国を建国



石田芳弘犬山市長（当時）



森真各務原市長（当時）

8

「ライン共和国建国」

市境、県境を越えた交流の幕開けだった
しかも、末端自治体発の発議で
全国市長会や全国議長会等の枠組みでない
市長間交流、議長間交流が始まった

交通の多様化 そして自由化

ブルンヘーフィの時代

9

しかし、平成18年11月20日愛知県知事選に
石田芳弘が出馬するとともに、この交流は
止まり、
その後、市長交流、議長交流も
下火になった。

市境、県境を越えた交流 下火に

ブルンヘーフィの時代

10

副議長って何？

議会の閑職？
いや、やりようによってはどれ
だけでも価値を生み出せる
ポジション



2020年5月
ピアンキ議長の
補佐役として
二回目の
副議長就任

11

副議長会？

怪しい？ 正規の会？ 費用弁償は？ 事故の
補償は誰がするの？ 議会事務局は協力しづ
らいですね。

自発的な会を作る文化がそもそもないので、会設立だけでもあまたの障害が

ブルンヘーフィの時代

12



13

尾北ライン勉強会の今後

議員力向上の研鑽の場 全国の中間勉強会との連携

15人から20人程度の割合で地方議員が集い、明るく、有識者に情報交換と意見交換できる場を维持してほしい。一人の話を聞くあるいは講評を聞くだけでなく、相互に情報を提供し合ってそれぞれの建設的な意見を発抒する場としてほしい。

令和4年4月8日で100回を迎え。もちろん月名会の出入りはあったが、現在いのメンバーはほぼ専属参加。

基本的にZOOMで開催してきた。これが継続できたポイントでもある。時々オフも繋り交ぜ、より魅力的な勉強会になっている。

ここで得た情報などを一般質問や議案質疑にも利用し、行政の質の向上に寄与していると考える。

非常に不思議なほど興味がある。

こうした勉強会が、全国に2,300まで、将来は、福井形で全国大会で開かれて、地方の力をより磨きはるものとしているのではないかと個人的には考えている。

そしてこの多くの勉強会が福井県で連携していくためには、やはりなにかとなる組織、事務局が必要だろう。もし、日本自治創造学会がその仕事を引き受けたならば、私も全力で応援したい。

まずは日本は地方から変わらなければ。

尾北ライン勉強会

14

「脳を頂点とするピラミッド」という人体観が覆されようとしている。
NHKスペシャル・シリーズ「人体 神秘の巨大ネットワーク」

- すべての細胞がメッセージを出し合うことで、
- 私たちの生命は維持されている——
- この人体観は、最先端の中の最先端です。
- 山中伸弥(京都大学iPS細胞研究所所長)

- すべての末端自治体がメッセージを出し合うことで、
- 私たちの国家は維持されている——
- この国家観は、最先端の中の最先端です。
- 柴山一生(犬山市議会議員)

15